

1 加古川線全線開業100周年記念事業（新）

観光需要の増加

【概要】

事業内容 1924年（大正13年）12月27日に野村駅（現・西脇市駅）～谷川駅間が開業して100周年になることを記念し、記念セレモニーやトークショー、ラッピング列車の運行、記念グッズ作成等を実施

①記念セレモニー（7/7（日））

- ・西脇市駅での出発式
- ・俳優 六角精児さんのトークショー（オリナスにて）

②車両ラッピング（7/7～2月末頃）

③LINEスタンプラリー（10～12月頃を予定）

④記念ノベルティと記念グッズ作成



記念セレモニー



ロゴマーク

<キャッチフレーズ>

「ありがとう&おめでとう加古川線全線開業100周年」

- 実施主体**
- ・西脇市・丹波市（①～③）
（R6予算：6,600千円）
 - ・JR西日本（④）



車両ラッピング（イメージ）

【取組状況・今後のスケジュール】

7月7日（日）に記念セレモニー、トークショー実施済



JR加古川線WT R6年度の主な取組

資料 4

様式 1

2 加古川線利用促進ウィーク（拡）

日常利用の促進

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 地域の必要な鉄路として今後の未来につなげていくため、通学、通勤時等の鉄道利用を推進する。

- ①播州織中吊広告の車内掲示・ポスター等による鉄道利用の呼びかけ R5利用促進ポスター
- ②地元高校生等による文化祭(物販、ワークショップ、発表会)等イベントの開催

実施主体 ①西脇市、北播磨県民局
②関係機関による実行委員会を検討中（R6予算額：1,750千円）



文化祭(イメージ)



“さあ、加古川線(カコセン)を愛そう”利用促進ウィーク
令和5年10月5日(水)～10月18日(水)まで
■利用促進ポスター
■地域の鉄道をもっと愛そう！
「加古川線」の魅力を、ぜひぜひお伝えしたいので、ぜひぜひご活用ください！
※本ポスターは、西脇市、北播磨県民局、JR西日本が共同で制作しました。

【取組状況・今後のスケジュール】

秋頃（調整中）

3 加古川線利用助成事業（新）

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

事業内容

- ①社会学習利用助成・・・学校園等が加古川線を利用して行う社会学習活動に対し運賃を助成
- ②団体利用者助成・・・団体利用する場合の運賃を助成

実施主体 西脇市、丹波市（R6予算額：①550千円、②800千円）

実施期間 4月～



黒田庄中の全校生徒による遠足利用

【取組状況・今後のスケジュール】

4月から実施中（黒田庄中〔130名〕西脇小〔66名〕ほか）

4 JR加古川線リレーマルシェ（継）

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 駅周辺でマルシェなどを開催（R6予算額：2,579千円）

実施主体 地元自治会、県民局等



久下村夜市

< 昨年度実施結果 >

- ①久下村夜市（8/22開催、参加者約600名、うち加古川線利用者約270名）
- ②谷川夜市（12/22開催、参加者約470名、うち加古川線利用者約120名）
- ③黒田庄マルシェ（2/25開催、参加者約1,200名、うち加古川線利用者約240名）

【取組状況・今後のスケジュール】

久下村夜市は8/22の開催予定（他のリレーマルシェは関係機関等と調整中）

黒田庄マルシェ



5 通学定期券購入補助（継）と通学定期券購入者自転車貸出事業（新）

日常利用の促進

【概要】

事業内容

- ①定期券購入補助（実施主体：西脇市、丹波市 R6予算額：1,582千円）
通学定期券を購入する学生に対し購入費の一部を助成
- ②自転車貸出事業（実施主体：西脇市 R6予算額：3,056千円）
通学定期券購入者へ自転車の無償貸出を行い、駅からの二次交通の確保につなげる。



【取組状況・今後のスケジュール】

4月より実施中

6 わが町考え隊事業の推進（継）

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 hesocityclub代表 掘井氏を中心に、地域活性化策を展開
SNSによる情報発信、地域住民等とのミーティングや
マルシェの開催等

実施主体 hesocityclub、北播磨県民局（R6予算：700千円）

【取組状況・今後のスケジュール】

リバーサイド楽市での出展（5/12実施済）、SNSによる情報発信（常時）、マルシェ（年1回程度）等



マルシェ(マルトリエ)

7 JR加古川線（西脇市駅－谷川駅）維持・利用促進地域協議会の発足（新）

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 住民への鉄道利用の呼びかけ、鉄道利用促進事業の実施 など

実施主体 JR加古川線(西脇市駅－谷川駅)維持・利用促進地域協議会

構成：黒田庄まちづくり協議会、比延地区自治協議会、久下自治振興会
(R6補正予算・1,000千円〔西脇市：丹波市＝1：1〕)

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・令和6年6月30日 設立会の開催
- ・①横断幕の作成、②広報・啓発活動の推進、③協議会などでのイベント実施 ほか



設立会の様子

JR加古川線WT R6年度の主な取組

資料 4

様式 1

8 駅周辺の活性化に向けた地域団体等との連携

観光需要の増加

まちづくりと
一体となった魅力創出

【概要】

事業内容 日本へそ公園駅周辺での「リバーサイド楽市」と谷川駅周辺での「サン・マルシェ」と連携した利用促進の取り組みの実施

特徴 広報及びJRを利用したイベント参加者へのノベルティ配布 リバーサイド楽市



実施主体 ①リバーサイド楽市（参加者 約600名、うち鉄道利用者131名）
（主催：tamaki niime 共催：比延自治協議会、津万自治協議会、黒田庄まちづくり協議会）

②サン・マルシェ（参加者 約1,000名、うち鉄道利用者158名）
（主催：サン・マルシェ実行委員会）

③ 両イベントの広報及びJR利用者へのノベルティ配布（兵庫県、西脇市、丹波市）



【取組状況・今後のスケジュール】

5月12日（日）に実施済

サン・マルシェ

9 兵庫DCアフターキャンペーン

観光需要の増加

【概要】

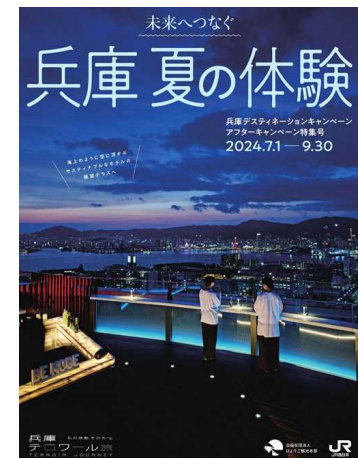
事業内容 JR西日本と自治体、地元観光業者、旅行会社等が一体となった観光キャンペーン

実施主体 JR西日本、兵庫県、沿線自治体

実施期間 2024年7月1日～9月30日

【取組状況・今後のスケジュール】

- ・ガイドブック、ポスターの配付、掲出
- ・ひょうご夏の体験デジタルパス(2日間用・3日間用) 発売



10 特急列車を谷川駅に臨時停車する実証実験

日常利用の促進

観光需要の増加

【概要】

- 事業内容**
- ・ 谷川駅で対向列車の待ち合わせのために停車している一部(下り2本、上り4本)の特急このとりに、乗り降りできるよう取り扱いを変更する。
 - ・ 加古川線から乗り換えいただける特急列車を増やすことで、加古川線（西脇市～谷川駅）のご利用が増加するかどうか検証する。

実施主体 JR西日本

【取組状況・今後のスケジュール】

<実施期間> 7月1日（月）～9月30日（月）、<周知方法> チラシの配付、ポスターの掲出



<参考>

【このとり：下り】

	路線名	駅名	時刻
①	加古川線（下り）	谷川駅	8時50分着
	福知山線（このとり3号）		10時17分発
	加古川線（上り）		12時10分発
②	加古川線（下り）	谷川駅	18時08分着
	福知山線（このとり17号）		18時27分発
	加古川線（上り）		19時03分発

【このとり：上り】

	路線名	駅名	時刻
①	加古川線（下り）	谷川駅	8時50分着
	福知山線（このとり10号）		10時17分発
	加古川線（上り）		12時10分発
②	加古川線（下り）	谷川駅	10時40分着
	福知山線（このとり12号）		11時17分発
	加古川線（上り）		12時10分発
③	加古川線（下り）	谷川駅	10時40分着
	福知山線（このとり14号）		13時16分発
	加古川線（上り）		15時13分発
④	加古川線（下り）	谷川駅	14時10分着
	福知山線（このとり16号）		14時16分発
	加古川線（上り）		15時13分発

※④は金、土、休日運転